

安全管理委員会通信 Vol.1

このたび(社)日本テニス事業協会に新設されることになりました「安全管理委員会」では、会員の皆様に安全管理に関する情報発信をすべく、安全管理委員会通信コーナーを設けることとなりました。本コーナーでは安全管理に関するご提案や問題事例などの紹介、また対策や必要なシステムなどを紹介して参ります。

初回配信となります今回は、安全管理委員会としての主旨・活動からご案内したいと思います。

■ 安全管理委員会について

さる、5月7日(木)15時～JTIA会議室において、第1回安全管理委員会会議が開催されました。

出席者：雑賀会長・金田彰委員長・渋谷博美・古賀裕一

冨塚拓彦／事務局：加藤

～会議議事～

1. JTIA安全管理委員会としての安全管理の定義

原則として、コート上の事故に起因・由来する項目を指し、情報漏えい等の安全(危機)管理等は含まないものとし、JTIAテニスプロデューサー科目の安全管理をベースに定義を明文化する。

2. 安全管理委員会の活動について

実態調査の実施加盟事業所に協力を依頼し、安全管理に関する実態調査を実施する。併せて、事故事例等についても情報提供の協力依頼をする。

3. 安全管理に関する啓蒙活動

安全管理に関する啓蒙活動を実施する。通信等による意識喚起、事例情報共有、安全管理体制構築のアドバイスをする。

*5月27日 第2回安全管理委員会会議を実施しました。

出席者：雑賀会長・金田彰委員長・古賀裕一・冨塚拓彦
野田照彦・白倉明博・境敬行・加藤・増田

■ 安全管理の重要性について(基本的概念)

一般に、運送事業や建設業・製造業においては、その業務運営上、比較的多くの危険が付随するため、安全管理という概念が浸透されてきました。テニス施設における安全管理の概念は、企業内・施設内での事故を未然に防ぐという考え方と全く同じものですが、余暇を楽しむ人々に対して安全に楽しんでいただく環境作りをすることがテニス事業の大きな使命であり、健全に事業を発展・継続させるための最も重要なファクターのひとつなのです。

(テニスプロデューサー教本より抜粋)

昨今の訴訟社会、消費者保護の流れを受け、スポーツ施設における事故や怪我についても、管理者責任・指導者責任を問われる場面が増えてきました。当然のことながら、私たちテニス事業者の責任においては安全にテニスを楽しんでいただくことが第一義ではありますが、それでも思わぬ形での事故の可能性はゼロにはなりません。しかし、施設全体での安全管理体制への取り組みによって、事故発生率を引き下げ、また不幸にも発生してしまった事故についての適切な対応が出来るようにしておくことが、非常に重要になってきています。安全管理には完成形はありません。常に体制を維持向上させるためには、全従業員への意識喚起が必要です。

気をつけましょう！この季節

■ 夏に向けて

じめじめした梅雨が終わると、酷暑がやってきます。

この時期は湿度・熱へのじゅうぶんなケアが必要になります。お客様から熱中症患者を出さないよう注意しましょう。

1. 適度な休憩の推奨

こまめに休憩をとるようにしましょう。

特にクラブ会員様はプレー時間・量を自分で決めます。

また、高齢の会員様も少なくありません。

適度な試合数をおすすめしましょう。

2. 水分補給

水分補給はこまめにしましょう。

一気に飲みはいけません。

また、発汗により失われるのは水分、塩分だけではなく、ミネラル、ビタミンも汗とともに失われます。アミノ酸、クエン酸が含まれたドリンクをおすすめするのも有効です。

3. お客様の観察

プレーに熱中するあまり、休憩、水分補給を忘れていないか、過度に体力を消耗していないかなど、お客様の顔色や動きを観察しましょう。

4. 天候に注意

雷発生時、光化学スモッグ発生時には無理をせず、プレーを控えるよう注意しましょう。雨天時や湿気によるコートの滑りにも配慮しましょう。

ポイント！

インドア、アウトドアを問わず、熱中症は発生します。

お客様へのケアとスタッフへの啓蒙を忘れずに！

INFORMATION

安全管理委員会では、下記の活動を予定しております。

- ・施設における安全管理体制構築のガイドとなるチェックシートなどのサポートツールの配信。
- ・各事業所の安全管理への取り組み事例、ツールなどのご紹介
- ・現状把握のため、各施設様の安全管理体制や事故事例についてのアンケート実施。

※JTIA事務局までご意見、ご協力をお願いいたします！